

西 ～にし～

Good News

■八王子西特別支援学校「町田工業高校と共同開発した教育支援アプリの活用」

「東京型教育モデル」において、ICT活用による学びの重要性が示されているとおり、パソコンやタブレット端末などを活用できる能力は、社会生活の様々な場面において大きな力となります。特別支援教育においても、コミュニケーションやスケジュール管理のツールとしてタブレット端末は積極的に活用されており、学校で児童・生徒が苦手とする部分を補う上で、重要な役割を果たしています。

昨年度、本校は町田工業高校と「教育支援アプリ」を共同開発する連携協定を締結しました。同校の生徒が本校を訪問して、本校の児童・生徒の様子を観察した上で開発したアプリを、今年度は授業の中で活用しています。

このアプリでは、児童・生徒がそれぞれ日常生活のスケジュール管理を設定できます。アプリの画面中央には、「かばんをだす」「きがえぶくろをしまう」「すいとうをしまう」「給食セットをしまう」という4つのシンボルが並んでおり、児童・生徒は、これらのシンボルを見て行動し、それぞれの活動が終了したら、シンボルを指で動かして画面から消します。

7月19日（火）、本校では同校の生徒と今年度最初のアプリ開発会議を開催し、本校中学部生徒がアプリを使用している姿を実際に見てもらいました。その中で、改善できる点や要望を伝え、さらに活用しやすいアプリになるよう両校で意見交換することができました。

今後も、町田工業高校と協力して多数の授業に関するアプリ開発に取り組み、活用のさらなる充実を図っていきます。



教育支援アプリの画面



授業でアプリを活用する様子



アプリ開発会議の様子

(主幹教諭・小松崎洋介)

令和3・4年度のGood Newsは、以下の掲示板からご覧になれます。

[【令和4年度GoodNews】](#)

[【令和3年度GoodNews】](#)